

志 継

No.66

発行 一般財団法人 田澤記念館
 住所 佐賀県鹿島市大字高津原434番地
 発行責任者 平野重徳・高松昭三
 発行所 鹿島印刷株式会社
 発行日 2015年10月1日

田澤義鋪 生誕130年記念大会 大成功!!



小池幸照実行委員長



高松昭三理事長
 横の立華は理事長作



平野重徳会長



山下義則事務局長

7月25日(土)に鹿島市生涯学習センター「エイブル」で開催され、市内外から約500名(田澤義鋪氏の四男である田澤義彦夫妻や静岡県田澤義鋪顕彰会から3名)が訪れた。式典は小池幸照実行委員長の開会の言葉で始まり、田澤少年クラブの「貴く生きる」の

合唱、高松昭三理事長の大会長の挨拶があり、平野重徳田澤記念館会長から関係者への表彰状と感謝状が手渡された。来賓の祝辞で日本青年館 常務理事 山本信也氏は田澤義鋪氏の「道の国日本」の建設を掲げ、世界平和の建設を希求していたことに触れ、残念ながら現在の日本は周辺諸国と緊張を作り出しており、これから一層努力して、友好をつくりださなければならぬと述べられた。また、平野重徳会長(92)や高松昭三理事長(87)の元気な姿にたくさんの拍手が鳴り止まなかった。

ステージ発表では七浦保育園のななうら太鼓が元気が打ち鳴らされ、次郎物語(次郎の父親 俊亮は父親の理想像で湖人が敬愛する田澤の風ぼうを浮かべながら描いた・鹿島市撮影場所)の上映があった。意見発表では小中学生と社会人が登壇した。鹿島小6年の吉牟田琴美さんは、田澤の言葉「一事貫行」を実践しようと言った。毎日を通じていきたいと述べた。ステージでは、神埼市の高志狂言保存会の「柿山伏」や地元で活躍されている鹿島ほとめき会の踊り、女性コーラスさくらの合唱とすばらしい演技演奏に観衆は魅了された。

結びに山下義則事務局長の閉会の言葉で記念大会の幕は閉じた。同会場のエントランスホールで展示された田澤義鋪直筆の掛け軸「一誠貫萬事」は、遺言で門外不出とされていたもので、今回の130周年を記念して四男である義彦氏から寄贈されたものである。また、鹿島市、嬉野市、太良町の各小学校から田澤義鋪感想画が展示された。同日夕方から懇親会が行われ、100名を超す参加者(田澤義鋪氏の四男田澤義彦夫妻)で、田澤精神の復活を誓い楽しい一時が過ぎた。



七浦保育園 ななうら太鼓



鹿島ときめき会



女性コーラスさくら



佐賀県重要無形文化財
 神埼市 高志狂言



山日本青年館常務理事

表彰状受賞者

- ・藤川正明
- ・坂本武一郎
- ・吉田俊章
- ・故 田中 勉

感謝状受賞者

- ・森田常正
- ・大和塗装(株)
- ・迎りつ子
- ・伊東央子
- ・鹿島機械工業(株)
- ・祐徳自動車(株)
- ・(株)タック
- ・鹿島ライオンスクラブ
- ・(株)宮園電工

感想画出展

- 6年1組全員(久小)
- 森本玲奈(塩小)
- 中原祥馬(草小)
- 古川蒼空(嬉小)
- 川野太陽(轟小)
- 松永 滯(吉小)
- 峯光 希(原小)
- 堀口凜斗(大小)
- 犬尾美咲・永松明日華(五小)

青年教育の復興へ～ユースカレッジの活動～

27年度 鹿島市役所様や市内の5企業〔東亜工機(株)・鹿島印刷(株)・鹿島機械工業(株)・祐徳自動車(株)・森鉄工(株)〕様のご協力で19名のユースカレッジ生が研修に励んでいます。講師陣もさまざまな体験を持ち、現在もはつらつと各界で活躍されている方々に依頼している。1つの仕事に就くと専門的な知識や技術は身につくが、将来期待されている青年たちが広い視野でものを観察し思考力を深め多様な対応ができることがユースカレッジの到達目標である。



6月研修 開校式 理事長挨拶 研修生代表の挨拶 組織説明等
講義 鹿島市交通安全協会 草場吉文氏による「道路交通法について」
平野重徳会長による「田澤先生、その人と業績」

7月研修 講義 佐賀県青年団長OB 鹿島市消防団長

小池幸照氏による「今の若者に期待すること」
館外研修 玄海エネルギーパーク「原子力発電について」説明を受け意見交換



8月研修 講義 佐賀県人事委員会事務局長 社頭文吾氏による「ひとを大切に、世界に誇れる佐賀づくり」
館外研修 下村湖人家 島 館長による「田澤義舗と下村湖人とのつながり」

9月研修 講義 保護司 アンソカ保育園園長 中村一之氏による「いのちの理由について」

館外研修 黒髪少年自然の家での宿泊研修
野外炊飯・懇親会 (テーマ：18歳は成人か?)
黒髪山登山



・カレー作りでは役割分担の大切さを感じた。通常の料理より時間も手間もかかってとってもらいへんで、全員の協力があってこそできるものなのだと思います。
・夜の懇親会では他の班の人とも話すことが出来ました。「18歳は成人かどうか」についての討論では様々な意見を聞くことができ視野を広げることが出来たと思います。
・登山では普段の運動不足がたつてもつらかった。何度も無理だと思ったが、一緒にベースを合わせて歩いてくれる人が何人もいたので助かった。お陰で頂上までたどり着けた。私も誰かがつらそうにしていたら、一緒に歩いたり、考えたりして支えたりして支えあげられるような人間になりたい。(参加者の感想から)

私 絵付け頑張った! 志田焼きの里で体験研修

田澤少年クラブで8月19日(水)に志田焼きの里へ絵付け体験に行った。鹿島小学校の児童は2年生の時に修学旅行で体験していたが、経験を重ねることで見えなかったものが見え、分からなかったことが分かり、できなかったことができるようになると思ひ実施した。それに、自分の成長を感じ、自信へとつながっていくとも考えている。自信は大きく成長(変身)するエネルギーの源である。このようなことを重ねながら、大人への一助となればと体験活動を行っている。



私は2年生のときは皿に絵付けしたので、今度はコップにしました。もようを描くのは難しかったです。私が残ったのは、かまのことでした。かまのことで質問をうまくすることができなかったため、今度の研修では、きちんと質問ができるように頑張りたいです。(参加者の感想)

平成27年度後半 田澤記念館の主な行事予定

9月4～5日 ユースカレッジ(宿泊研修)
18日 田澤料理教室
27日 田澤少年クラブ
田澤洋裁教室(10日, 24日)
10月6日 ユースカレッジ
10～11日 田澤少年クラブ(宿泊研修)
16日 田澤料理教室
23日 理事会

27日 監査
田澤洋裁教室(15日, 29日)
11月6日 ユースカレッジ
20日 田澤料理教室
田澤洋裁教室(12日, 26日)
田澤少年クラブ赤い羽根街頭募金活動
12月17日 ユースカレッジ
18日 田澤料理教室第
田澤洋裁教室(10日, 24日)